

週刊相場観測誌 Market 展望

Weekly Market Research Report 2020年8月17日号



今週のPOINT

国内株式市場

日経平均は外部環境次第で上値試す

今週の分析銘柄 - FISCO Selection 8 -

富士フイルムホールディングス【東証1部 4901】ほか

テーマ別分析

テレワークが低価格住宅の需要喚起

話題のレポート

コロナ禍で電子書籍の普及が加速

スクリーニング分析

決算発表一巡のタイミングで改めて好業績銘柄に関心

4-6月期決算発表はほぼ一巡

1	今週の市場見通し	国内株式市場	マーケット概観	3
			新興市場	4
		米国株式市場		5
		為替市場	米ドル/円予想レンジ	6
		債券市場	債券先物・長期国債利回り予想レンジ	6
2	マーケットを読む	今週のポイント		7
		日経平均株価		8
3	今週の分析銘柄	FISCO Selection	富士フイルム 田 〈4901〉東証 1 部	9
			FUJI〈6134〉東証1部	10
			オムロン〈6645〉東証1部	11
			富士通〈6702〉東証1部	12
			パン・パシフィック・インターナショナルHD〈7532〉東証1部	13
			三菱地所〈8802〉東証1部	14
			ポエック〈9264〉JASDAQ	15
			関通〈9326〉マザーズ	16
		読者の気になる銘柄	ソフトバンクグループ〈9984〉東証1部	17
			エーザイ〈4523〉東証1部	17
		テクニカル妙味銘柄	メディパルHD〈7459〉東証1部	18
			マニー〈7730〉東証1部	18
4	カテゴリー考察	テーマ別分析		19
		スクリーニング分析		20
		先週の話題レポート		21
		信用需給動向		22
5	連載コラム			23



日経平均は外部環境次第で上値試す

■日経平均は約2カ月ぶり23000円台回復

前週の日経平均は米株高を追い風に2週連続で上昇し、およ そ2カ月ぶりに23000円台を回復した。10日の米国市場では、 ハイテク株が軟調に推移しナスダック総合指数が続落したも のの、雇用関連指標が予想を上回ったことに加え、トランプ大 統領が追加財政措置で大統領令に署名したことも好感され NY ダウは357.96 ドル高と7日続伸した。この流れを受けて3連 休明け11日の日経平均は上昇してスタートし、その後もアジ ア株高を支援材料に上げ幅を広げる展開となった。日経平均は 前週末比 420.30 円高と 4 営業日ぶりに反発した。ハイテク株 を中心に売りが継続した影響で、11日のNYダウは8日ぶりに 反落したものの、12 日の日経平均は続伸した。米7月生産者 物価指数 (PPI) の予想上振れを受けて米長期金利が上昇し、1 ドル=106円台後半まで円安が進行したことで、朝方は前日終 値を挟んで推移していた日経平均も後場に入りプラス圏で推 移。最近の好調な経済指標や四半期決算を受けて、ハイテク株 が買い直された12日の米国市場では、NY ダウが反発、ナスダ ック総合指数も4日ぶりに上昇した。また、米製薬大手ファイ ザーとドイツ企業が共同開発している新型コロナウイルスワ クチンの良好な試験結果が伝われ、13 日の日経平均は約2カ 月ぶりに23000円台を回復して寄り付いた。その後も高値圏で 推移し、6月9日の戻り高値23185.85円を上回った。景気敏 感系のバリュー (割安) 株は伸び悩んだものの、ハイテク系の グロース (成長) 株が上昇した。13 日の米国市場はまちまち の展開だったが、米長期金利の上昇とともに一時1ドル=107 円台まで円安が進み、14 日の日経平均は堅調スタート。オブ ション8月限のSQ(特別清算指数)通過後は、前日までの急 ピッチの上昇から売り買いが交錯してこう着感が強まったも のの、後場は小高い水準でもみ合った。東証株価指数 (TOPIX) が4日ぶりに小反落した一方、日経平均は前日比39.75円高の 23289.36円と4日続伸で引けた。14日の米国市場は7月小売 売上高の伸びが予想を下回った一方、8月ミシガン大学消費者 信頼感指数速報値が予想外の上昇を示すなど強弱材料が交錯 し、主要3指数はまちまちの展開となった。

■景気敏感株と半導体関連の動きが焦点

今週の日経平均は、スピード調整を交えながらも上値を試す場面がありそうだ。8月に入り日経平均は2週間で約1500円超の上昇を見せ、13日には6月9日の戻り高値23185.85円を上回ってきた。日経平均が1月22日以来となる24000円台乗せに一気に挑戦するとは考えにくいものの、6月から続いたボックス相場の上限を上抜いてきたことは確かであり、基調の陽転は侮れない。8月以降の上昇相場は、米国株の上昇と為替の3

円安、そして新型コロナワクチンの開発進展が支援材料となっ ている。ファイザーとドイツ企業が開発するワクチンの臨床試 験において、ウイルスに対する抗体が検出され、ウイルスの働 きを弱める中和抗体の量も上昇することが初期段階の結果と して確認されたことが英国の科学雑誌「ネイチャー」に掲載さ れた。ワクチン開発が成功した場合、日本政府も来年6月末ま でに6000万人分の供給を受けることで合意しており、好感さ れている。まだ結果は不透明ながらも、ワクチン開発にひとま ずのメドが付き始めたとみた金融市場は「脱コロナ」を意識し 始めている。これまで売り込まれたトヨタ自動車〈7203〉などの 自動車株やコマツ〈6301〉などの機械株といった景気敏感株が 値を戻している。この景気敏感株の買い戻しと、SUMCO(3436) や東京エレクトロン〈8035〉といった半導体関連株の出直りが どの程度継続するかが、ボックス相場を上抜けた今後の日経平 均の上げ幅を左右してこよう。ただ、14 日で今回の決算シー ズンは一巡したが、景気敏感株及びバリュー株の個々の業績は 厳しいものが多く、4-6 月期が底と判断するには時期尚早と いうムードも国内では根強い。為替や海外株高などの外部要因 が働かなければ、日経平均は上値の重さが意識される水準にあ るとも言える。

■物色展開に広がり、好業績株の選別物色も継続へ

セコム〈9735〉やオリンパス〈7733〉が2月に付けていた年初来 高値を更新してくるなど、循環物色に広がりが見られると同時 に、ソニー〈6758〉が今月5日に付けた年初来高値を更新してく るなど、ハイテク株も買いが続いている。また、14日は東証1 部のエムスリー〈2413〉やチェンジ〈3962〉などの好業績株が商 いを伴って大幅高となっており、好業績株の選別買いも継続し そうだ。

■4-6 月期 GDP、7 月貿易収支、8 月 NY 連銀景気指数

今週の主な国内経済関連スケジュールは、17日に4-6月期国内総生産(GDP)速報値、6月鉱工業生産(確報値)、19日に7月貿易収支、6月機械受注、21日に7月全国消費者物価指数、7月訪日外客数の発表がそれぞれ予定されている。一方、米国など海外主要スケジュールでは、17日に米8月NY連銀景気指数、米8月NAHB住宅市場指数、18日に米7月住宅着工件数、19日に7月28-29日開催分の米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨、ユーロ圏7月消費者物価指数、20日に米8月フィラデルフィア連銀景気指数、米前週分新規失業保険申請件数、21日に米7月中古住宅販売、米8月製造業購買担当者景気指数(PMI、速報値)、ユーロ圏8月製造業PMI(速報値)の発表が予定されている。



「躍進」新興企業に更なる成長期待、IPO ではニューラル

■決算発表一巡で中小型株に物色向かいやすくも

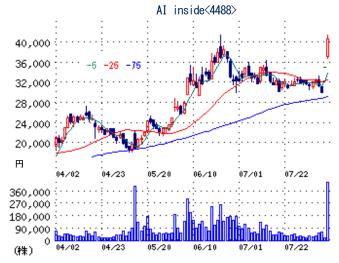
今週の新興市場では、マザーズ指数が底堅く推移しそうだ。引き続きバリュー(割安)株の見直し局面で売られたり、6月高値(1067.29pt、取引時間中)接近で利益確定の動きが出たりもするだろう。ただ、決算発表が一巡し、短期の値幅取りを狙った物色は再び中小型株に向かいやすくなる。今回の決算では「ウィズコロナ」「アフターコロナ」下での新興企業の躍進を感じさせるものが少なくなく、成長期待の一段の高まりが株価を押し上げそうだ。

人工知能(AI) 搭載の光学式文字読み取り(OCR) サービスを展開するAI inside〈4488〉などは好例だろう。また、先週末に決算発表したネットショップ作成支援のBASE〈4477〉は、4-6月期の売上高が前年同期の約2.8倍に急拡大した。これまでに株価は大きく上昇しているが、実態は期待どおりか、それ以上とも言えそうだ。なお、今週は8月17日に総医研助〈2385〉などが決算発表を予定している。

■20日にニューラル上場、雪国まいたけ再上場発表

IPO関連では、8月20日にニューラルポケット〈4056〉がマザーズへ新規上場する。同社はAIサービスの創出に取り組んでおり、人気の投資テーマに乗ることから期待が高まっているようだ。同社に先立ち上場したティアンドエス〈4055〉の賑わいなども追い風として働くと考えられる。なお、先週は雪国まいたけ〈1375〉(9月17日、東証1部または2部)の再上場が発表されている。2015年以来、5年ぶりとなる。







経済指標や企業決算で投資家心理は改善か/米国株式相場 今週の見通し

■先週の動き

中国や米国の経済指標が概ね予想を上回る内容となり、世界経済の回復期待が強まったほか、トランプ大統領が追加財政措置の大統領令に署名した為、週初は上昇して始まった。中国政府が米上院議員など 11 人を対象に報復制裁を発表したが、トランプ政権の閣僚を除外した為、米中対立深刻化懸念も緩和した。ロシアが初のワクチン登録を発表しワクチン開発へのさらなる期待につながったほか、トランプ大統領がキャピタルゲイン(譲渡益)減税に言及したことも好感された。労働市場の先行指標として注目されている新規失業保険申請件数が予想以上に減少し、3 月中旬以降初めて 100 万件を下回ったことも労働市場の順調な回復継続を裏付けた。週を通じて主要株式指数は景気循環株がけん引する形で上昇。一方、トランプ大統領による中国のアプリ TikTok や WeChat を禁止する大統領令の影響でハイテク株は引き続き上値が抑制され伸び悩んだ。

電気自動車メーカーのテスラは普通株1株を5株にする株式分割を発表し急伸。半導体メーカーのクアルコムは連邦高等裁判所が同社が反トラスト法(独占禁止法)に違反したとする連邦地裁の判決を破棄したことが好感され上昇。一方、画像処理装置・化学製品のイーストマン・コダックは政府が同社との融資契約を巡り、同社経営陣が関与したとされるインサイダー取引や情報開示違反を巡る疑惑が晴れるまで契約を保留にすると発表し急落。 携帯端末のアップルは複数のサブスクリプションサービスをまとめた定額パッケージ「アップルワン」を10月にも開始するとの報道を受け、上昇。ネットワーク機器のシスコシステムズは低調な見通しが嫌気され急落となった。

■今週の見通し

追加救済策の決定は議会が夏季休暇から戻る9月以降に持ち越される可能性が強まったほか、高値警戒感も根強く揉み合う展開が予想される。ウイルス収束の兆しが見られず、回復ペース鈍化のリスクは残る。但し、最近の経済指標や企業の第2四半期決算で予想を上回る結果が続いており、投資家心理は悪くない。同時に、長期失業者数の増加や企業の従業員解雇計画第2弾も警戒される中、連邦準備制度理事会(FRB)は当面大規模緩和を継続することが見込まれ、9月には更なる追加緩和を実施するとの憶測も下支え要因となる。

今週末予定されていた米通商代表部 (USTR) のライトハイザー代表と、中国の副首相による第1段階貿易協定の6カ月検証はスケジュールの都合で延期する見通し。この半年の中国による米農産物購入は公約規模の3分の1の達成率にとどまっている。中国政府はトランプ大統領が使用禁止を発表したTikTokやWeChatなども交渉材料として取り上げる可能性が高く、米中両国が双方の領事館を閉鎖するなど対立が深まる中で、貿易交渉は難航するだろう。トランプ大統領は現在の状況で第2段階の協定を協議する意向はないと表明している。ただ、今週に入り中国は今までにない量の米農産物を購入しており、会合でも第1段階貿易協定の順守を公約すると見られていた。対立をさらに深刻化させる意図は中国側には今のところないようだ。

追加救済策を巡り、トランプ大統領が署名した大統領令が 共和・民主党間の交渉を後押しすると期待されていたが、溝 は深く膠着状態が続いており、今のところ速やかに合意する 気配は見られない。共和党のマコーネル上院院内総務は 13 日、レーバーデー明けとなる9月8日まで上院採決を行わな いことを発表した。但し、追加パンデミック救済策で合意が あった場合、24 時間の通知で議会は招集される見込みだ。下 院もすでに9月14日まで採決を行わないことを発表してい る。万が一、休会期間中に何らかの合意が成立した場合、ポ ジティブサプライズとなり相場を押し上げることになるだ ろう。

主な経済指標では、8月NY連銀製造業景気指数(17日)、7月住宅着工件数(18日)、8月フィラデルフィア連銀景況指数、新規失業保険申請件数(20日)、7月中古住宅販売件数(21日)が予定されている。そのほか、FRBは7月末に開催した連邦公開市場委員会(FOMC)の議事録を19日に公表する。FRBはこの会合で、大規模な金融緩和の据え置きを全会一致で決定している。パウエル議長は会合後の会見で「利上げの検討を考えることさえ考えていない」と超ハト派姿勢を維持した。議事録の内容から9月にフォワードガイダンスの強化などの追加措置に踏み切る可能性を探りたい。

主な企業決算では化粧品のエスティローダー、アパレルのLブランズ、家具メーカーのレージーボーイ、半導体のエヌヴィディアなどが予定されている。特に小売りのウォールマートやBJsホールセール・クラブ、ターゲット、ホームセンターのホームデポなどの決算では、パンデミック自粛中もウイルス対策コストが嵩む一方で、オンライン販売急増による業績拡大に期待が集まっている。
株式会社フィスコ

為替市場

米ドル・円 予想レンジ

105.00 円 ~ 108.00 円

今週のドル・円は伸び悩みか。米国の7月雇用統計は、予想以上に強い内容だったことから、目先的にはリスク回避目的のドル売りポジションを解消する動きが続く可能性がある。7月1日の高値108円16銭までのドル上昇の余地はありそうだが、8月19日に公表される米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨で、経済見通しについて慎重な意見が多くみられた場合、ドルを買い戻す動きは一服する見通し。

米国の追加経済対策の規模をめぐってトランプ政権と民主党指導部の協議が難航していることや、米中対立の先鋭化で一段のドル上昇は抑えられるだろう。欧州連合(EU)復興基金創設を背景としたユーロ高も引き続き注視される。1 ユーロ=1.19 ドル台前半まで強含んだ後は利益確定売りに押されたものの、1.17 ドル台では押し目買いが観測されている。何らかの要因でユーロ高・米ドル安が進行した場合、ドル・円の上値は多少重くなる可能性がある。

【米連邦公開市場委員会 (FOMC) 議事要旨】 (8月19日公表予定)

FRB は8月19日に7月28-29日に連邦公開市場委員会 (FOMC) 議事要旨を公表する予定。ハト派寄りの姿勢は明確であることから、一段の緩和的な政策手段への思惑が広がり、ユーロ買い・ドル売りの要因となる可能性がある。

【米・8 月フィラデルフィア連銀景況調査】(8 月 20 日発表予定)

20 日発表の8月フィラデルフィア連銀景況調査(製造業景気指数)は21.0と、前月実績を下回る見通し。ウイルス感染の再拡大によって、製造業が7月までの回復基調を維持することは難しいとの思惑が広がっている。そのため、市場予想を下回った場合、リスク選好的なドル買いは後退する見通し」。

債券市場

債券先物予想レンジ	151. 30	円	~	151. 80	円
長期国債利回り予想レンジ	0. 025	%	~	0. 055	%

■先週の動き

先週 (8月10日-14日) の長期債利回りは上昇。米長期金利の上昇や為替相場の円安反転を意識して、週後半の円債市場では安全逃避的な債券買いは縮小した。今週行われた流動性供給入札は無難な結果となったが、長期債などの利回り水準の低下を促す材料ではなかった。市場関係者の間からは「投資家の大半は様子見姿勢だったことや、市場参加者自体が少なかったことが債券利回りの上昇につながった」との声が聞かれた。10年債利回りは0.02%近辺で取引を開始し、14日の取引で0.049%近辺まで上昇、0.048%近辺でこの週の取引を終えた。

債券先物 9 月限は弱含み。152 円 13 銭で取引を開始し、152 円 15 銭まで買われたが、米長期金利の上昇を意識して押し目買い興味は後退し反落。12 日の夜間取引で151 円 65 銭まで下落。13 日に151 円 96 銭まで戻したものの、週末前に売りが再び強まり、14日の取引で151 円 60 銭まで下落し、151 円 62 銭でこの週の取引を終えた。

■今週の見通し

今週(8月17日-21日)の債券市場では、長期債利回りはやや上昇する可能性がある。イールドカーブのスティープ(傾斜)化を想定した取引が増える見込み。18日に行われる30年国債の入札結果は有力な手掛かり材料となりそうだ。低調な結果となった場合、10年債利回りは節目の0.05%をやや上回る可能性がある。利回りの絶対水準を重視する投資家の需要はある程度見込める状況だが、為替相場の円安進行や米長期金利の上昇が続いた場合、押し目買いの意欲は低下し、イールドカーブのスティープ化がやや加速する可能性がある。

債券先物は主に 151 円台後半で推移か。30 年国債の入札結果が 注目されそうだ。市場予想を下回る低調な結果となった場合、国 内株式や円相場に大きな動きがない場合でも債券先物は 151 円台 前半まで下落する可能性がある。

決算発表一巡で材料難の中、引き続き米ハイテク株の動向などに注目

先週の日経平均は堅調推移、週を通して上昇し、6月9日の 戻り高値を更新する展開となった。米雇用統計なども好感されて 連休明けから買い先行でのスタートとなり、その後も、ワクチン 実用化や政策期待を背景とした米国株の上昇、為替の円安に 支えられて上値追いの動きが続いた。業種別では全セクターが 上昇、米長期金利上昇を支えに金融関連株が強い動きとなる。

先週は 4-6 月期決算発表の最終局面となり、引き続き、決算 発表が主要な物色の手掛かり材料とされた。主力処では、 TOYOTIRE、三井金属、飯田 GHD、荏原、アルバック、住友林 業、パンパシフィック、電通、富士フイルム、マブチなどは決算 がポジティブ視され、太陽誘電、楽天、JFEHD、すかいら一くな どはネガティブ視された。中小型では、ウィルグループ、アクセ ル、アートスパーク、新日本電工、センコーHD、大幸薬品、チェ ンジ、アステリア、パーソル、LIFULL マイネット、富士ソフトなど が決算受けて急伸。反面、クックパッド、イーレックス、日医工、 ネットマーケティング、ビーグリー、CKD、システム情報、ダブル スタンダードなどは売り優勢となる。ブイキューブは好決算も材 料出尽くし感が先行。ソフトバンクGは順調決算だったが、株価 の反応は乏しかった。ほか、エーザイはアルツハイマー治療薬 申請を米FDA が正式受理と伝わったことで大幅高。 ミズホメディ ーも新型コロナ POCT 検査キット発売で急伸。 ZOZO 創業者前 澤氏の大量保有が伝わった U アローズやアダストリアなどには 思惑買いの動きが先行した。

7

先週末の米国市場はまちまちだったが、アップル、アルファベットなど主要ハイテク株が上値の重い動きとなるなど、やや警戒感を残す形となっている。また、中国の7月小売売上高が減少していることも、中国が世界景気の下支え役として意識される状況下、ネガティブに働く可能性もある。日経平均は先週後半にかけて6月の戻り高値水準を更新してきており、目先は達成感などが意識されやすいとみる。

4-6 月期決算発表は先週で一巡し、やや材料不足の状況に 陥る可能性があろう。ただ、米国ではエヌビディアやキーサイト など、国内関連銘柄に影響を与えるハイテク株の決算が予定さ れている。ホームデポやウォルマートなどの決算発表もあり、ゲ ーム株なども含めて、米個人消費関連銘柄の動向なども注目さ れることになる。経済指標では、国内では 4-6 月期 GDP や機械 受注が発表され、米国では NY 連銀製造業景気指数、フィラデ ルフィア連銀製造業景気指数などマインドを映す先行指標的な 経済指標の発表がある。徐々に、マインドの急速な回復の一巡 も意識すべきだろう。決算発表が一巡したタイミングでは、アナ リストの業績見通し修正などから、好業績銘柄にあらためて関心 が向からものとみられる。中小型の今期好業績見通し発表銘柄 などには、短期資金による値幅取りの動きなども活発化しやす いだろう。また、米長期金利の上昇基調が継続するようならば、 高配当利回り銘柄などのバリュー株に資金シフトが強まる余地も あると考えられる。

先週動いた銘柄・セクター(東証 1部・個別銘柄は他市場が優先市場のものを除く)

	上昇率上位銘柄	下落率上位銘柄				業種別騰落率			
コード	銘柄	終値(円)	騰落率(%)	コード	銘柄	終値 (円)	騰落率(%)	上位セクター	騰落率(%)
5337	ダントーホールディングス	190. 0	32. 87	3981	ビーグリー	1, 835. 0	-20. 25	金属製品	7.04
5563	新日本電工	196. 0	29. 80	9325	ファイズホールディングス	1, 068. 0	-19.94	陸運業	6. 90
3660	アイスタイル	361.0	27. 56	3939	カナミックネットワーク	772.0	-13.06	石油・石炭製品	6.87
3934	ベネフィットジャパン	1, 929. 0	24. 85	3154	メディアスホールディングス	834. 0	-12. 76	機械	6. 78
3073	DDホールディングス	799. 0	24. 84	3677	システム情報	1, 283. 0	-11. 33	銀行業	6. 67
3962	チェンジ	11, 290. 0	24. 07	7305	新家工業	1, 029. 0	-10. 83	ガラス・土石製品	6. 49
3291	飯田グループホールディングス	2, 068. 0	23. 10	3031	ラクーンホールディングス	1, 119. 0	-10. 62	保険業	6. 45
1911	住友林業	1, 521. 0	22. 96	2170	リンクアンドモチベーション	309.0	-10. 43	下位セクター	騰落率(%)
9273	コーア商事ホールディングス	1, 973. 0	22. 93	2326	デジタルアーツ	8, 460. 0	-10. 10	情報・通信業	1.53
6071	IBJ	773. 0	22. 70	8918	ランド	9.0	-10.00	海運業	1.81
6099	エラン	2, 190. 0	22. 35	1716	第一カッター興業	2, 256. 0	-9. 87	その他製品	2. 19
4696	ワタベウェディング	266.0	22. 02	6430	ダイコク電機	1, 097. 0	-9. 49	鉱業	2. 73
6250	やまびこ	1, 100. 0	21. 95	9517	イーレックス	1, 338. 0	-9. 35	パルプ・紙	2.99
4552	JCRファーマ	12, 750. 0	21.66	3925	ダブルスタンダード	4, 960. 0	-8. 99	非鉄金属	3. 21
6062	チャーム・ケア・コーポレーション	961.0	21. 34	7456	松田産業	1, 571. 0	-8. 93	小売業	3. 93

堅調か、ボリンジャーは上値拡張を示唆

■遅行線は強気シグナル増大

先週 (8月11-14日) の日経平均は2週連続で上昇した。1週間の上げ幅は959.42円(前週619.94円)だった。

東証と大阪取引所の集計による投資部門別売買状況では、海外投資家は8月1週(3-7日)に現物・先物合算で3週ぶりに買い越し、金額は672億円(前週6139億円の売り越し)だった。現物株は買い越しに転じた。金額は1631億円(前週4487億円の売り越し)。

先週末の NY ダウは34.30 ドル高の27931.02 と小反発。週間ベースでは497.54 ドル高 (前週1005.16 ドル高)と2週連続で上昇した。 先週の日経平均は週末にかけて4連騰した。週末終値は6月9日の直近高値23185.85円を超え、ボックス相場からの上抜けに成功した。

今週は堅調が予想される。先週は12日に5日線と25日線が短期ゴールデンクロスを示現して上昇トレンドが一段と鮮明になったが、先週末終値は25日線とのプラス乖離率が2.98%にとどまり、過熱ゾーン入りの目安となる5%までは余裕を残している。75日線は200日線に下から迫ってゴールデンクロス形成を窺っており、中長期の上昇トレンド入りも期待できよう。

日足の一目均衡表は先週末に転換線が基準線を上回って三役好転を示現したばかり。株価は雲上限との上方乖離幅を拡大する傾向にあるほか、転換線と基準線がともに上向いて短期的な上昇圧力の強さを示しており、今週も買い手優勢の地合いが予想される。上値目標として1月17日の今年最高値24115.95円が意識される一方、遅行線の強気シグナル増大から下値は限られ、8月12日高値を下端とするマド埋めに相当する22874.37円が下値抵抗線として作用しよう。

ボリンジャーバンド (25 日ベース) では、先週末まで2 日連続で終値が+2 σ を上回り、上値拡張局面の継続を示唆している。+1 σ 分の値幅は 293. 32 円 (前週末 239. 39 円) に拡大し、 -2σ から+2 σ の各線の間隔が広がる「5 本線発散」の初期段階に入ったとみられ、今週は日々の値幅が上下どちらの方向にも拡大しやすくなる可能性が増している。

RSI (14 日ベース) は 58.65%と中立圏 (40-60%) 内にあるほか、東証 1 部の騰落レシオ (25 日ベース) は 96.51%とちょうど中立圏中央付近にあるため、東証 1 部全体で過熱感は乏しく、上値余地はあるといえよう。







富士フイルムホールディングス〈4901〉東証 1 部 相対的に底堅い決算評価でリバウンドの動きに期待

■事務機器大手では第1四半期唯一の黒字

13日に第1四半期の決算を発表、営業利益は204億円で前年同期比45.1%の大幅減益になったが、市場予想は60億円程度上振れた。また、事務機器大手の中では唯一の黒字決算となり、相対的な業績の底堅さが明らかとなる形にもなっている。一方、通期見通しを公表、営業利益は1400億円で前期比25.0%減益の予想としている。市場コンセンサスは400億円近く下振れる水準ではあるが、事業体質改善費など一時的な費用を250億円程度織り込んでいることもあって、特にネガティブ視する必要もないだろう。全社売上高は4-5月をボトムに回復基調に入っており、上振れ余地も十分にあると考える。

■3分の2戻しを期待

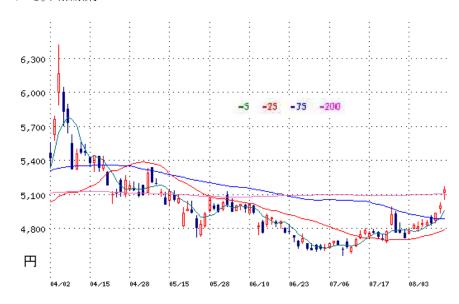
新型コロナウイルスの治療薬候補「アビガン」の臨床試験が 9 月に完了する見通しであるとも先週伝わっている。同治療薬へ

売買単位	100	株
8/14 終値	5138	円
目標株価	5800	円
業種	化学	

の期待感があらためて高まってくるタイミングでもある。4 月高値 から安値までの戻り率は30%程度に過ぎないが、先週末には一 目均衡表の雲上限、並びに200 日線も突破していることで、今後 は反発力に弾みがつこう。4 月高値から安値までの3分の2 戻し 水準となる5800 円を目標株価とする。

★リスク要因

信用買残などは高水準。



4901:日足

上値抵抗線の75日線に続き、200日 線も一気に捉える。

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2017/3連S	2,322,163	-5.6%	172,281	194,775	6.9%	131,506	296.27
2018/3連S	2,433,365	4.8%	123,329	197,807	1.6%	140,694	322.62
2019/3連S	2,431,489	-0.1%	209,827	212,762	7.6%	138,106	326.81
2020/3連S	2,315,141	-4.8%	186,570	173,071	-18.7%	124,987	306.18
2021/3連S予	2,200,000	-5.0%	140,000	170,000	-1.8%	120,000	300.20

・ 株式会社フィスコ



FUJI 〈6134〉 東証 1 部

コロナ影響のなか通信機器関連が予想上回り推移

■スマホ向けや5G関連等の需要が底堅く推移

産業用ロボットメーカー。電子部品実装ロボットや工作機械などを製造販売する。電子部品実装ロボットは世界高シェア。2021年3月期第1四半期は2ケタ増収増益スタート。新型コロナウイルス感染拡大のなか、ロボットソリューション事業において通信関連に加え、半導体関連向けの販売が伸長した。また、上期・通期見通しを、同事業において通信機器関連などの予想を上回る受注があったとして上方修正した。スマートフォンやスマホ用アクセサリー、5G基地局等の通信関連の需要が底堅く推移している。地域別では中国が伸長した。新型コロナ拡大が欧州の設備投資に影響も、中国ではいち早く回復傾向となっているもよう。主力のロボットソリューションの業績けん引が続く見込み。

■上値抵抗帯を上抜け、割高感も乏しい

株価は6月以降、上値の重い展開となっていたが、第1四半期

売買単位	100	株
8/14 終値	2102	円
目標株価	2400	円
業種	機械	

決算と通期見通しの上方修正を受けて窓を開け上昇。上値抵抗 帯となっていた 2000 円を上抜けした。PER (株価収益率) 20 倍程 度と、他の機械株と比べ割高感がない点も評価できよう。目標株 価は 18 年 5 月高値水準の 2400 円とする。

★リスク要因

新型コロナ第2波による設備投資の減速。



6134: 日足

200 日線の支持線確認で急伸、2000円台での推移が続く。

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2017/3連	86,397	-0.3%	9,794	10,200	-14.9%	7,054	76.19
2018/3連	120,032	38.9%	22,827	23,538	130.8%	17,523	195.04
2019/3連	129,104	7.6%	23,106	23,454	-0.4%	16,855	184.52
2020/3連	140,967	9.2%	19,571	20,119	-14.2%	14,963	163.81
2021/3連予	123,000	-12.7%	12,500	13,300	-33.9%	9,400	102.91



オムロン〈6645〉東証1部

省人化・遠隔診療ニーズも利益成長に寄与

■第1四半期は2ケタ営業増益を達成

世界的に新型コロナウイルスの感染拡大が広がり、厳しい事業環境が続くなかでも利益成長を遂げている同社に注目したい。2020年4-6月期売上高は前年同期比8%減の1464億円、営業利益は同24%増の124億円と減収増益だった。主力の制御機器事業では、デジタル業界の拡大を背景に半導体関連需要が伸び、中国と韓国で2ケタ増収を確保した。ヘルスケア事業でも、利益率の高いオンラインチャネルの拡大を着実に進め、体温計や血圧計などを中心に国内外で売上増が続いていることもプラスに働いた。

■新常態が事業機会につながる

新型コロナの流行が長期化する可能性が高まっているだけ に、「密」を回避するため、組み立て、検査、搬送工程など製造現 場の省人化ニーズが高まっているほか、遠隔医療への関心も高

売買単位	100 株
8/14 終値	7980 円
目標株価	9000 円
業種	電気機器

い。米国では、高血圧患者向けの遠隔診療サービスの提供が始まっている。こうした新常態(ニューノーマル)が事業機会につながり、長期的にみても業績成長が期待されよう。株価は一時8000円を突破し新たな上昇トレンドに入ってきたと考えられ、目標は次の節目となる9000円に設定する。

★リスク要因

新型コロナの影響深刻化による設備投資鈍化。



6645:日足

25 日線が下値支持線となり、新たな 上昇トレンド入りを意識。

(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2017/3連S	794,201	-4.7%	67,566	65,492	-0.3%	45,987	215.09
2018/3連S	859,982	8.3%	86,254	83,367	27.3%	63,159	296.85
2019/3連S	732,581	-14.8%	67,254	65,912	-20.9%	54,323	260.78
2020/3連S	677,980	-7.5%	54,760	51,836	-21.4%	74,895	365.26
2021/3連S予	590,000	-13.0%	30,000	25,000	-51.8%	16,500	81.81



富士通〈6702〉東証1部

DX 領域も活躍の場に

■第1四半期は大幅な増益を達成

新型コロナウイルスが猛威を振るうなか、事業構造改革を進めている同社に注目したい。個人向けパソコン事業の譲渡や欧州の不採算地域からの撤退などを推し進めており、市場では「中期的に収益力の高まりが期待できる」との声が聞かれる。同社は「IT企業からデジタルトランスフォーメーション(DX)企業への移行」を目指し、デジタル領域での成長を図っている。こうしたなか、金融機関や官公庁向けなどの情報システムやネットワーク構築、運用管理などのテクノロジーソリューション事業が伸び、2020年4-6月期営業利益は前年同期比6.6倍と大幅な増益となった。

■DX領域で活躍余地大きく

次世代通信規格「5G」基地局関連では、米企業に同社製基地局が採用されるなど、着実に成果が表れている。DX 領域では、スーパーコンピューター「富岳」といった最先端技術、テレワーク

売買単位	100 株
8/14 終値	14265 円
目標株価	16180 円
業種	電気機器

の拡大、行政サービスの電子化など活躍余地は大きい。株価は 7 月末に年初来高値 14795 円を付けたが、中期的に見ても成長 余地は高く、将来的に 20000 円をも視野に入れてこよう。当面の 目標は直近高値から安値までの倍返し水準 16180 円に設定。

★リスク要因

不採算案件の発生、新型コロナの影響深刻化。



6702:日足

25 日線が下値支持線として機能し、 上昇トレンド継続。

/	_	
\	//	1 1/

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2017/3連Ⅰ	4,132,972	-12.8%	117,455	124,162	-5.8%	88,489	42.83
2018/3連Ⅰ	4,098,379	-0.8%	182,489	242,488	95.3%	169,340	82.53
2019/3連Ⅰ	3,952,437	-3.6%	130,227	161,785	-33.3%	104,562	512.50
2020/3連I	3,857,797	-2.4%	211,483	228,564	41.3%	160,042	791.20
2021/3連I予	3,610,000	-6.4%	212,000	_	-	160,000	799.02



パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス〈7532〉東証 1 部 小売セクターの好業績銘柄として上値追い持続に期待

■前期業績は大幅上振れ着地に

12日に20年6月期の決算を発表、営業利益は前期比20%増益の760億円となり、会社計画の710億円、先の観測報道720億円強を大きく上回っている。計画外の在庫評価損45億円も計上しているため、実質的な上振れ幅はより大きかったことになる。ユニーの収益改善がけん引役となった。結局、コロナ発生前のタイミングで発表した業績予想を上振れる着地に。21年6月期は770億円で前期比1%増益を計画している、市場予想はやや下回る水準であるが、コロナ禍でインバウンド需要が期待できない中、32期連続での増収増益見通しを打ち出したことは安心感につながる。ユニーの前提などからは上振れ余地もあるといえる。

■25日線レベルでは押し目買いの動きも期待

連続増収増益ストップというガイダンスへの警戒感も強かったとみられ、当面の買い安心感は強いといえよう。13日の急騰後は

売買単位	100	株
8/14 終値	2446	円
目標株価	2700	円
業種	小売	

伸び悩み、長い上ヒゲを残している点は需給面でのネックとなるが、25 日線レベルでは押し目買いの動きなども強まっていく公算。中期的には、各国の段階的な渡航制限緩和が折に触れてカタリストにもなっていきそうだ。現値から 10%上昇した水準である2700 円を目標株価とする。

★リスク要因

2500-2600 円レベルでの戻り売り圧力。



7532:日足

目先は 25 日線が下値支持として意 識。

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2017/6連	828,798	9.1%	46,185	45,523	3.9%	33,082	209.18
2018/6連	941,508	13.6%	51,568	57,218	25.7%	36,405	230.14
2019/6連	1,328,874	41.1%	63,110	68,240	19.3%	47,066	297.44
2020/6連	1,681,947	26.6%	75,997	75,173	10.2%	50,303	79.39
2021/6連予	1,700,000	1.1%	77,000	76,000	1.1%	51,000	80.45



三菱地所〈8802〉東証1部

コロナ拡大の影響から回復傾向

■6月以降、商業施設やホテルが回復傾向

大手総合不動産会社。オフィスビルや商業施設、ホテル、住宅等を手掛ける。2021年3月期第1四半期は商業施設やホテル、分譲マンションで新型コロナウイルス感染拡大が影響も、堅調なオフィスビルの賃貸やキャピタルゲインにより増益となった。6月以降、分譲マンションはモデルルームを再開。来場者は回復傾向となっている。また、商業施設では緊急事態宣言解除後に順次営業を再開し、アウトレットモールの6月の売上水準は昨年比で8割まで回復。ショッピングセンターも物販が前年と同水準まで回復している。ホテルの稼働率も1ケタ台から6月には10%台と上向きとなっている。堅調なオフィスビル賃貸と相まって、第2四半期以降は回復基調で推移する見込みだ。

■下落基調から上昇基調に転換へ

株価は6月高値以降、下落基調だったが、第1四半期決算を受

売買単位	100 株
8/14 終値	1668.5 円
目標株価	1850 円
業種	不動産

けて窓を空けて上昇。ダブルボトムを形成した後は 75 日移動平 均線を突破し、その後も同線を上回って推移している。目標株価 は6月高値の 1850 円とする。

★リスク要因

国内消費の回復鈍化。



8802:日足

決算発表を受けて急騰し、ダブルボ トム形成。

(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2017/3連	1,125,405	11.5%	192,495	169,851	17.3%	102,681	74.00
2018/3連	1,194,049	6.1%	213,047	190,506	12.2%	120,443	86.78
2019/3連	1,263,283	5.8%	229,178	206,587	8.4%	134,608	96.97
2020/3連	1,302,196	3.1%	240,768	219,572	6.3%	148,451	108.64
2021/3連予	1,142,000	-12.3%	185,000	169,000	-23.0%	110,000	82.18



ポエック〈9264〉JASDAQ ポンプのエキスパートメーカー

■東北大とウイルス不活化技術で共同研究

ポンプのエキスパートメーカーとして、水と空気に重点を置いた環境エネルギー装置や防災・安全機器の製造・販売・保守を展開している。災害時に特に威力を発揮する電源不要の消火装置「ナイアス」は、世界初の圧力水槽方式の加圧送水装置で、国内の老人ホーム、診療所のほか南極・昭和基地にも採用されている。7月28日には東北大学とウイルス不活化技術の開発及び同技術の製品化に向けて共同研究契約を締結したと発表。2020年8月期第3四半期累計(19年9月-20年5月)の営業利益は前年同期比73.3%増の1.82億円と、業績も好調だ。

■1年8カ月ぶりの4000円台復帰に期待

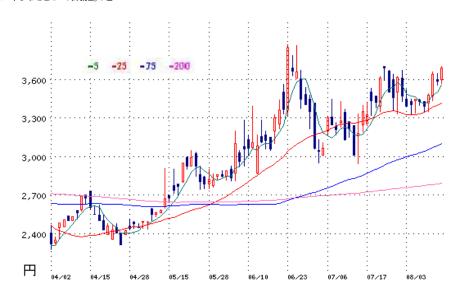
17年12月に付けた上場来安値にあと10円まで迫った3月13日安値2030円からの切り返し波動が継続している。26週移動平均線とともに上昇する13週移動平均線が下支えとして機能。足

売買単位	100	株
8/14 終値	3690	円
目標株価	4000	円
業種	卸売	

元は高値圏でのもち合いが続いているが、日足ベースでは5日移動平均線と25日移動平均線がともに上昇持続で、トレンドは崩れていない。6月高値3875円を上回り、18年12月以来となる4000円台への復帰が期待される。

★リスク要因

設備投資需要の落ち込み。



9264: 日足

5 日線と25 日線を支持線としたトレンドが継続。

/-	_	_		١\
- (_	$\overline{}$	ш	1)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2016/8連	5,407	9.0%	259	184	-8.5%	106	31,200.00
2017/8連	4,942	-8.6%	129	183	-0.5%	143	42,080.00
2018/8連	5,730	15.9%	197	159	-13.1%	128	76.02
2019/8連	5,641	-1.6%	207	193	21.4%	143	73.80
2020/8連予	6,298	11.6%	246	242	25.4%	148	69.67



関通〈9326〉マザーズ

オンライン通販企業が主要顧客

■物流IT企業として再評価

オンライン通販企業を対象に企業の配送センター代行業務を 手掛ける物流会社で、業績は好調。資本業務提携先の楽天 〈4755〉が第3位株主となっている。6月に倉庫管理システム「クラウドトーマス」が経済産業省の「IT導入補助金 2020」の補助金対象ITツールとして採択されたと発表したのに続き、7月には関西主管センターで導入している自律走行ロボット「Syrius (シリウス)」が、構内稼働を開始したと発表。単なる陸運会社ではなく、物流IT企業として注目され始めている。

■7月戻り高値3400円が目標

株価は、7月14日の2021年2月期第1四半期(20年3-5月) 決算発表翌日に急落し、その後2300円台まで調整しての出直り 局面にある。2900円近辺に位置する13週移動平均線が上値抑 えラインとして意識されるが、8月に入ってから上昇に転じ、下値

売買単位	100 株
8/14 終値	2780 円
目標株価	3400 円
業種	倉庫·運輸関連

サポートとして働く5日移動平均線が25日移動平均線を上抜くミニゴールデンクロスを示現。目先は節目の3000円が上値メドとして意識されるが、ここを上抜けてくれば7月の戻り高値3400円奪回が目標視されてきそうだ。

★リスク要因

取扱量拡大に伴うコスト増加。



9326: 日足

5日線が25日線を上抜け。

(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2017/2単	4,263	14.0%	-	30	-	-25	_
2018/2単	5,254	23.2%	160	139	363.3%	55	1,399.50
2019/2単	6,468	23.1%	126	103	-25.9%	78	1,944.00
2020/2単	7,301	12.9%	291	255	147.6%	170	74.95
2021/2単予	9,270	27.0%	432	395	54.9%	248	84.53

ソフトバンクグループ 東証 1 部(9984)/目先は米主要ハイテク株の動向に連動

11 日に第1 四半期の決算を発表、 税引前利益は8330 億円で前年同期比50.9%減益となったが、純利益は1 兆2557 億円で同11.9%増益になっている。アリバン株のデリバティブ決済益一巡で税引前利益は大幅減益だが、純利益はスプリントの支配喪失益計上などで増益に。注目される投資ファンド事業が1296 億円を確保しており、決算にネガティブなインパクトは限定的となっている。

決算発表翌日は、決算内容より米ハイテク株の下落が弱材料視された。 投資ファンド事業は米ハイテク株の動向がカギを握り、現在の同関連株の上値の重さは懸念されるところ。週末の報道では、米シェアオフィス大手ウィーカンパニーに対し、11億ドルの金融支援枠を改めて設けたことがわかったと伝わっている。ウィーの経営環境が厳しさを増すなか、ややネガティブに捉えられる可能性が高そうだ。



エーザイ 東証1部〈4523〉/アルツハイマー病治療薬への期待が続く

11 日には急伸して高値を更新。米バイオジェンと共同開発しているアルツハイマー病治療薬「アデュカヌマブ」の新薬承認申請について、米FDAが受理したと発表したことが買い材料になった。同薬は優先審査の指定も受けたとされている。審査終了目標日は来年3月7日であるが、早期に審査完了の可能性も指摘されている。承認されれば世界初のアルツハイマー治療薬となるだけに、来年度以降の業績寄与に対する期待があらためて高まる形となった。

今後は諮問委員会による承認勧告が得られるか否かが注目点となり、それにより、FDAの承認の可能性はさらに高まることとなる。諮問委員会の開催時期は10-12月期とみられ、時間を要するものの、押し目では期待感が再燃するものと考えられる。コロナ禍で医薬品セクターの関心が続く中、今後も底堅い相場展開が期待できよう。



メディパルホールディングス 東証1部(7459)

日足ベースのローソク足。8月7日を 直近ボトムとして先週末まで4日連続 で上値と下値が切り上げた(点線・四 角A)。先週末大引けは75日線をクリ アしたほか、5日線が12日に上向きに 転じたばかりの25日線を下から上に抜 ける短期ゴールデンクロスを示現し (点線・丸B)、上昇トレンド入りを示 唆した。14日ザラ場では6月9日高値 から8月7日安値までの半値戻しに相 当する2267円を抜けており、6月9日 高値への全値戻しの展開が期待できよ う。



マニー 東証 1 部(7730)

週足ベースの一目均衡表。先週はローソク足が胴体の長い陽線を引き、6月最終週以来7週ぶりに終値が雲上に復帰して買い手優勢を確認(点線・四角A)。遅行線が株価を上回って強気シグナル発生を再開して三役好転が完成した(点線・丸B)。9月第3週には雲上限と下限が交差する変化日を迎え、翌4週には3月安値が計算対象から外れるため基準線が上向く公算が大きく、足元の株価は上昇トレンド入り前の値固め局面と位置付けられよう。



テーマ別分析:テレワークが低価格住宅の需要喚起

■月次動向からは回復傾向が鮮明

住宅展示場の来場者が最近になって急増するなど、住宅業界に変化が出ている。首都圏で新築戸建て住宅を手掛けるケイアイスター不動産〈3465〉の分譲住宅契約金は4月の前年同月比8%減に対し、5月同32%増、6月同25%増と、5月以降は好調を持続している。

同じく首都圏を中心に事業を展開するオープンハウス〈3288〉の4月戸建て仲介契約件数は、新型コロナウイルスの影響で前年同月比39.1%減と落ち込んだものの、5月は同43.0%増、6月は同52.3%増と大幅な伸びを記録している。

いずれもテレワークの増加をきっかけに、書斎を確保しやすい低価格の戸建て及び中古住宅に対する需要が高まったことが背景にあるようだ。首都圏・近畿・中京の3大都市圏で低価格・中古住宅事業を展開する企業が注目されてきそうだ。

■主な「低価格・中古住宅」関連銘柄

コード	3 数柄	市場	8/14株価	概要
1419	タマホーム	東証1部		ローコスト系の注文住宅会社として全国展開
1420	サンヨーホームズ	東証1部	609	近畿圏中心に首都圏、中部圏等で戸建て住宅展開
1925	大和ハウス工業	東証1部	2660	2019年11月にネット専用の低価格帯住宅を投入
1928	積水ハウス	東証1部	2118	大手ハウスメーカーの一角、低価格住宅ブランド「ノイエ」展開
2978	ツクルバ	マサ゛ース゛	845	中古住宅の仲介サイト「カウカモ」を運営
3228	三栄建築設計	東証1部	1338	1次取得者向け戸建て住宅販売、リフォーム事業を展開
3241	ウィル	東証2部	292	関西地盤に戸建て開発分譲
3288	オープンハウス	東証1部	3450	首都圏を中心に狭小戸建て住宅事業を展開
3291	飯田グループホールディングス	東証1部	2068	全国シェア3割をもつ戸建て分譲住宅の巨人
3297	東武住販	JASDAQ	845	山口、福岡県を地盤に中古住宅の再生販売事業を展開
3407	旭化成	東証1部	910.5	ケミカルとともに住宅事業が収益柱
3465	ケイアイスター不動産	東証1部	2008	埼玉県など首都圏を地盤に新築戸建て住宅
3477	フォーライフ	マサ゛ース゛	838	東京・城南地区中心に1次取得層向け低価格戸建て住宅展開
3491	GA technologies	マサ゛ース゛	6640	中古不動産流通に特化したポータルサービス「リノシー」運営
4204	積水化学工業	東証1部	1650	大手ハウスメーカーの一角、「セキスイハイム」ブランド
5938	LIXILグループ	東証1部	1739	グループにローコスト住宅メーカーのアイフルホーム
7320	日本リビング保証	マサ゛ース゛	1285	不動産業者向け中古住宅検査保証を手掛ける
8850	スターツコーポレーション	東証1部	2221	賃貸住宅の建設、仲介・管理
8860	フジ住宅	東証1部	509	大阪府を中心に関西圏でで分譲住宅や中古住宅を販売
8886	ウッドフレンズ	JASDAQ	2033	名古屋圏を地盤に戸建て分譲、注文住宅を展開
8919	カチタス	東証1部	2619	低価格の空き家を仕入れ、リフォームして中古物件を販売
8999	グランディハウス	東証1部	352	栃木県など北関東が地盤の戸建て住宅開発・販売

出所:フィスコ作成

決算発表一巡のタイミングで改めて好業績銘柄に関心

■4-6 月期決算発表はほぼ一巡

4-6 月期の決算発表がほぼ一巡した。引き続き未定としている企業も残るが、今回の決算で通期予想を初めて公表した企業が多くなっている。コロナ禍中において見通しが立てにくく、保守的にもなりがちな状況下、前期に続き2ケタ増益見通しを示している銘柄は今後も買い安心感が強まっていく展開を想定する。第1四半期の好進捗で下振れ懸念も乏しい銘柄を取り上げる。

スクリーニング要件としては、①3 月期決算企業、②前期実績、今期予想ともに 2 ケタ営業増益、③今期予想営業利益が 10 億円以上、④第 1 四半期営業利益進捗率が 30%以上。

■連続2ケタ増益予想銘柄

コード	銘柄	市場	8/14株価 (円)	時価総額 (億円)	営業利益進捗 率(%)	配当利回り (%)	予想 1株利益 (円)
2664	カワチ薬品	東証1部	3,120.0	767.0	44.9	1.44	215.27
2790	ナフコ	JASDAQ	1,998.0	595.1	60.9	2.00	262.54
3199	綿半HD	東証1部	2,332.0	230.5	46.3	1.46	190.75
4367	広栄化学工業	東証2部	3,170.0	155.3	30.1	2.52	347.56
4626	太陽HD	東証1部	5,510.0	1,597.8	33.4	2.36	227.56
4998	フマキラー	東証2部	1,836.0	302.8	88.6	1.09	78.87
6082	ライドオンエクスプレス	東証1部	2,594.0	277.9	42.7	0.39	94.53
6777	サンテック	JASDAQ	1,937.0	231.7	50.2	1.03	76.53
7895	中央化学	JASDAQ	628.0	132.1	37.1	_	39.70
8005	スクロール	東証1部	713.0	248.3	76.2	2.10	57.93
9697	カプコン	東証1部	5,050.0	6,840.0	42.0	0.89	168.62
9831	ヤマダ電機	東証1部	553.0	5,345.1	36.8	_	29.96

出所:フィスコアプリより作成

コロナ禍で電子書籍の普及が加速

■端末画面の大型化が電子書籍の利便性を高めるだろう

東海東京調査センターは、新型コロナ感染拡大による巣ごもり需要の恩恵を受けたサービスのひとつとして「電子書籍」をあげている。従来は通勤・通学などの移動時間に利用が多かったとみられているが、コロナ禍で在宅中の空き時間が増えたことにより自宅での利用が増加したほか、購入後すぐに読めるという手軽さも普及が進んだ理由と考えられる。国内電子書籍の出版市場はここ数年、前年比 10-20%程度の勢いで成長しており、不況が続いている紙の出版市場とは対照的な傾向が見られている。なかでも電子コミックがとりわけ成長が著しく、全国出版協会によれば昨年は約3割もの伸びを示しているという。2018年の大手海賊版サイト閉鎖以降、各社の販促やキャンペーンの増加もあり、読者の裾野は拡大しているため、「5G」対応スマートフォンの普及が進めば、端末が大型化することで電子書籍の利便性は一層高まると見込まれよう。同レポートでは、主な電子書籍関連銘柄を掲載している。

■主な電子書籍関連銘柄(東海東京調査センター)

コード	企業名
3641	パピレス
3658	イーブックイニシアティブジャパン
3678	メディアドゥ
3981	ビーグリー
4348	インフォコム
4424	Amazia
4446	Link-U

※出所:東海東京調査センターより引用

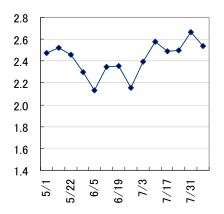
売り残高は3週間ぶりに増加

8月7日時点の2市場信用残高は、買い残高が168億 円減の2兆2547億円、売り残高が339億円増の8871億 円。買い残高は2週間ぶりに減少し、売り残高は3週間 ぶりに増加した。また、買い方の評価損益率は-20.60% から-17.86%、売り方の評価損益率は+12.94%から +8.48%に。なお、信用倍率は2.66倍から2.54倍へ。

この週 (8 月 3 日-7 日) の日経平均は前週末終値比 619.94 円高の 22329.94 円。3 日の日経平均は、前週末ま での6日続落で1200円近く下落した反動もあり、断続的 な買い戻しから、大引けでは485.38円高と反発。追加経 済対策の成立期待や経済指標の改善を受けて3日のNYダ ウは続伸、ナスダック総合指数も2週間ぶりに過去最高 値を更新すると、4 日の日経平均も円高一服とアジア株 の上昇も追い風に続伸した。ただ、5 日の日経平均は利 益確定売りが優勢に。新型コロナウイルスワクチン開発 への期待や、経済指標の予想外の改善などを受けて5日 のNY ダウは4日続伸、ナスダック総合指数は連日で過去 最高値更新。しかし、6 日の日経平均は薄商いの中、小 幅に続落。6日のNY ダウは新規失業保険申請件数の減少 を好感して5日続伸し、ナスダック総合指数も連日の最 高値更新となった。しかし、7日の日経平均は7月の米 雇用統計発表と3連休を控えて買いが続かず3日続落に。

個別では、キッコーマン〈2801〉は、第1四半期の減益 幅が想定以上に軽微にとどまったことから、株価はスト ップ高を交えての上昇。これにより買い方の利益確定が 進む一方、新規売りが積み上がっている。イビデン〈4062〉 は、業績予想を上方修正。これを受けて急騰するなか、 買い方の利益確定に対して、新規売りが積み上がった。





取組みが改善した銘柄

コード	市場	銘柄	8/14終値 (円)	信用買残 (8/7:株)	信用売残 (8/7:株)	信用倍率 (8/7:倍)	信用買残 (7/31:株)	信用売残 (7/31:株)	信用倍率 (7/31:倍)
2801	東証1部	キッコーマン	5,850.0	35,000	191,100	0.18	158,800	97,000	1.64
4062	東証1部	イビデン	3,670.0	357,300	298,200	1.20	879,900	163,400	5.38
8276	東証1部	平和堂	2,139.0	22,400	1,216,900	0.02	26,200	297,400	0.09
9697	東証1部	カプコン	5,050.0	78,800	325,800	0.24	141,300	137,700	1.03
2432	東証1部	DeNA	1,771.0	678,500	1,129,400	0.60	811,200	393,800	2.06
8002	東証1部	丸紅	583.4	3,915,400	2,145,300	1.83	5,927,100	1,167,100	5.08
2146	東証1部	UT GROUP	3,065.0	147,000	712,400	0.21	286,300	535,300	0.53
6586	東証1部	マキタ	4,870.0	31,400	232,700	0.13	51,600	158,400	0.33
7203	東証1部	トヨタ	7,181.0	1,802,300	1,606,800	1.12	2,759,600	1,017,700	2.71
7269	東証1部	スズキ	4,195.0	331,900	992,800	0.33	518,900	758,200	0.68
2427	東証1部	アウトソシング	825.0	1,974,000	1,366,100	1.44	2,880,500	1,019,100	2.83
2897	東証1部	日清食HD	10,670.0	38,300	95,900	0.40	39,800	52,600	0.76
7733	東証1部	オリンパス	2,181.0	603,600	726,200	0.83	846,200	563,900	1.50
3048	東証1部	ビックカメラ	1,134.0	417,100	2,433,600	0.17	382,000	1,287,700	0.30
3046	東証1部	JINSHD	7,240.0	143,100	201,600	0.71	141,800	114,600	1.24

コラム:ドル円の「回復」シナリオ

コロナ禍の不確定要因に囲まれ、ドル・円は方向感を探る展開が続いています。7 月以降のドル安トレンドは一服し、対円では緩やかに値を戻しつつあります。米大統領選に向け、どのようなシナリオが考えられるでしょうか。

7月はアメリカのISM(サプライマネジメント協会)製造業景況 指数など、堅調な経済指標を受けリスクオンのドル安が強まり ました。月末に発表された国内総生産(GDP)の空前の落ち込 みで、先行き不透明感に伴うドル売りにリスク回避の円買い が加わり、ドル・円は1カ月間で108円前半から4円も下落し ています。ただ、8月に入って106円付近での底堅い値動きを みると、100円に向かうドル安・円高シナリオにも疑問がわい てきます。

確かに実質実効為替レートは比較的大きく下げ、ドルが他の主要通貨に対して弱含んだことを示しています。その背景には、昨年から進んでいたアメリカの実質金利の低下が欧州連合(EU)復興基金の創設をきっかけに注目され、ユーロ買い・ドル売りが強まったとの要因が考えられます。ドルの実質実効為替レートは足元で下げ渋るものの、市場関係者の多くは年末に向けドル安トレンドがなお続くとみています。

目先のイベントのなかで、焦点は9月15-16日の連邦公開市 場委員会(FOMC)での政策決定です。連邦準備理事会(FRB) は実質ゼロ金利を延長するなど、フォワードガイダンスの変更 に踏み切る可能性があります。その際には米長期金利の低下を招き、ドル売りの要因となるでしょう。それに先立つ8月27-28日のジャクソンホールでの会合は、一段のハト派政策に向けた地ならしの場となりそうです。

金融政策面でドル安を避けるのは困難ですが、ユーロなどの主要通貨は対ドルだけでなく、対円でも同様に上昇が見込まれ、クロス円がドル・円をサポートする場面が目立っています。また、ドル安を背景に資源価格も大幅下落は想定できず、やはり対円で堅調になりそうです。ドル・円は 105 円を割り込むと国内勢の買いが膨らむため、その点でもやはりドル売り圧力は弱まるでしょう。

政治面からアプローチすると、むしろドル安は巻き戻される かもしれません。11 月の米大統領選に向け、支持率で民主党 候補のバイデン前副大統領の後塵を拝したトランプ大統領は 中国のみならず隣国のカナダまで通商上の敵国に仕立て上げ、保守層の支持を獲得する狙いです。貿易摩擦はドル売り 要因ですが、同時に地政学リスクを意識した根強い「有事のドル買い」が相殺する可能性もあります。

そして、最大の不確定要因である新型コロナウイルスのワクチン開発はトランプ氏の切り札になりえます。7-9 月期 GDP の急回復とワクチン実用化なら、NY ダウの危機前水準の回復は必至。FRB も金融政策について超ハト派スタンスを改めざるをえません。トランプ氏のあのテンションの高さをみると、ドルがこのままズルズルと泥船のように沈んでいくようには到底みえません。

※あくまでも筆者の個人的な見解であり、弊社の見解を代表 するものではありません。

1	スケジュール	経済カレンダー	2–4
	-	決算カレンダー	5
	_		
2	レーティング	格上げ・買い推奨	6
		格下げ・売り推奨	7
3	投資主体別売買動向	総括コメント	8
	•	市場別データ	9
4	新規上場銘柄	結果とスケジュール	10
	•		
5	一目均衡表雲抜け銘柄	雲上抜け銘柄(東証1部)	11
	.	雲下抜け銘柄(東証1部)	12

8月17日~8月21日※全て日本時間で表示

2

8月19日 月 850 CDP連絡値(4-6月) 08:50 CDP連絡値(4-6月) 08:50 CDP民間海敦度傾(4-6月) 11:30 D4-CDP民間海敦度は(4-6月) 11:30 D4-CDP民間海敦度は(4-6月) 11:30 数征・業生産(6月) 13:30 数征・業生産(6月) 13:30 数征・業生産(6月) 13:30 数征・第生産(6月) 13:30 米・ニューヨーク連額製造業景気指数(6月) 23:30 米・ニューヨーク連額製造業景気指数(6月) 23:30 米・バルH6住宅市場情数(8月) 27:00 ブ・貿易収支(編次X8月16日まで)カ月間) 29:30 米・対米証券投資収支(ネット長期間でプロー)(6月) 米・民主党全国大会(20日まで) 決算発表・JDドットコム 決算を表したシーンを(10円・M・2次プレビューX8月) 21:30 米・住宅着工件数(7月) 0PE(ブラス、主要期像がオンライン会合 決算発表 BPグループ、ウォルマート 0PE(ブラス、主要期像がオンライン会合 決算発表 BPグループ、ウォルマート 15:00 第八(7月) 08:50 輸入(7月) 08:50 輸入(7月) 15:00 英・連奏者物価産出コア指数(7月) 15:00 英・連奏者物価産出コア指数(7月) 15:00 英・連奏者物価産出コア指数(7月) 15:00 英・連奏者物価産出コア指数(7月) 15:00 英・連奏者物価産出コア指数(7月) 15:00 英・連奏者を開産出コア指数(7月) 15:00 英・連奏者を開産出コア指数(7月) 15:00 英・連奏者を開産との(7月) 15:00 英・上の一部を(7月)	日付	曜日	時間	内容
08:50 COP 民間命業設備(4-6月) 08:50 COP 民間商業支出(4-6月) 11:30 9イ・GDP(4-6月) 13:30 数征業金産(6月) 13:30 数征業金産(6月) 13:30 数価務金率(6月) 20:00 ブ・FOV:消費者物価指数(3円) 20:01 ブ・週次景気動向調査 21:30 米・二ューコープ連級製造業景気指数(8月) 23:00 米・NAHB住宅市場指数(8月) 27:00 ブ・買私収支(3月16日まで1カ月間) 29:00 米・対米証券投資収支(7年) 長期TICフロー/6月) 米・民主党全国大会(20日まで) 決算発表。JDドットコム 29:00 ブ・FGVインフロ本(3円・7年) 21:30 米・住宅建設許可件数(7月) 21:30 米・住宅建設許可件数(7月) OPECプラス、主要階値がオンライン会合 決算条表 BIPグルーブ、ウォルマート 第出(7月) 08:50 輸出(7月) 08:50 輸出(7月) 08:50 可規域受法(6月) 15:00 英・生産者物価度出プ指数(7月) 15:00 英・生産者物価度出プ指数(7月) 15:00 英・生産者物価度出プ指数(7月) 15:00 英・生産者物価度出プ指数(7月) 15:00 大・エーロ圏経常収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏経常収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏経介収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏経介収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏経介収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏経介収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏経介収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏を介収支(6月)	8月17日	月	08:50	GDP速報値(4-6月)
13:30 GDP民間消費支出(4-6月) 11:30 タイ・GDP(4-6月) 13:30 鉱工来生産(6月) 13:30 鉱工来生産(6月) 20:00 ブ・FGV消費者物価指数(IPC-S)X8月15日まで1カ月間) 20:25 ブ・週次景気動向調査 21:30 米・ニューヨーク連銀製造業景気指数(8月) 22:00 米・NAHB住宅市場指数(8月) 27:00 ブ・貿易収支(温火)X8月16日まで1カ月間) 29:00 米・対米証券投資収支(ネット長期TGフロー)(6月) 米・民主党全国大会(2日)まで1 決算券表 JDF・ツトンム メ・民主党全国大会(2日)まで1 決算券表 JDF・ツトンム 20:00 ブ・FGVインフレ単(GP-M、2をプレビュー)(8月) 21:30 米・住宅着工件数(7月) 21:30 米・住宅建設許可+股(7月) CP買い入れオペ(日本銀行) OPECグラス、主要開機がオンライン会合 決算条表 BHPグルーブ、ウォルマート 水 08:50 輸出(7月) 08:50 輸入(7月) 08:50 輸入(7月) 15:00 英・発表 BHPグルーブ、ウォルマート 15:00 英・発表 BHPグルーブ、ウォルマート 15:00 英・発表 BHPグルーブ、ウォルマート 15:00 英・工田服経常収支(6月) 15:00 英・生産者物価産出フ指数(7月) 15:00 英・生産者物価産出フ指数(7月) 15:00 丁・健補受主(6月) 16:00 欧・ユーロ服経常収支(6月) 16:00 欧・ユーロ服経常収支(6月) 17:00 欧・ユーロ服経常収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏経行収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏をPCP(7月) 18:00 欧・コード・ログ・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・			08:50	GDPデフレーター(4-6月)
11:30 タイ・GDP(4-6月)				
13:30 該工業生産(6月) 13:30 該価格衛車(6月) 20:00			ļ	
1330 設備移働率(6月) 20:00			11:30	タイ・GDP(4-6月)
2000 プーFGV消費者物価指数(IPC-S)(8月15日まで1カ月間) 2025 ブー週次景気動向調査 21:30 米・ニューヨーク連級製造業景気指数(8月) 23:00 米・NAHB住宅市場指数(8月) 27:00 ブ・貿易収支(週次(8月16日まで1カ月間) 29:00 米・対米証券投資収支(ペット長期TICプローX6月) 米・民主党全国大会(20日まで) 決算発表 JDFットコム 20:00 ブーFGVインフレ率(IGP-M、2次プレビュー/8月) 21:30 米・住宅建設許可件数(7月) 21:30 米・住宅建設許可件数(7月) 21:30 米・住宅建設許可件数(7月) 0PECプラス、主要關係がオンライン会合 次算発表 BHPグルーブ、ウォルマート 08:50 輸出(7月) 08:50 輸出(7月) 08:50 輸入(7月) 08:50 可多吸支(7月) 15:00 英・注産者物価産出コア指数(7月) 15:00 英・注産者物価産出コア指数(7月) 15:00 英・主産者物価産出コア指数(7月) 17:00 欧・ユーロ圏経常収支(6月) 18:00 欧・ユーロ田経常収支(6月) 18:00 欧・ユーロ田経常収支(6月) 18:00 欧・ユーロ田経常収支(6月) 18:00 欧・ユーロロビ(7月) 18:00 ズ・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス				
20.25 プ・週次景気動向調査 21.30 米・ユーヨーク連銀製造業景気指数(8月) 23.00 米・NANB住宅市場指数(8月) 27.00 ブ・貿易収支(週次(8月16日まで1カ月間) 29:00 米・対米監券投資収支(ネット長期TICフローX6月) 米・民主党全国大会(20日まで) 決算発表 JDドットコム 17.00 ブ・FIPE/書資者物価指数(週次(8月15日まで1カ月間) 20:00 ブ・FGVインフレ率(IGPーM、2次プレビューX8月) 21:30 米・住宅建設計可件数(7月) 21:30 米・住宅建設計可件数(7月) (21:30 米・住宅建設計可件数(7月) (21:30 米・住宅建設計可件数(7月) (21:30 米・住宅建設計可件数(7月) (21:30 米・住宅建設計可件数(7月) (21:30 米・住宅建設計可件数(7月) (21:30 米・住宅建設計可料数(7月) (35:50 輸入(7月) (36:50 輸入(7月) (36:50 育易収支(7月) (36:50 育別収支(7月) (36:50 育別で) (36				
21:30 米・ニューヨーク連録製造業景気指数(8月) 23:00 米・NAHB住宅市場指数(8月) 27:00 ブ・貿易収支(過欠)(8月16日まで1カ月間) 29:00 米・対米証券投資収支(ネット長期TICフロー)(6月) 米・民主党全国大会(20日まで) 決算発表 JDドットコム 20:00 ブ・FGVインフレ率(IGP-M、2次プレビュー)(8月) 21:30 米・住宅建設許可件数(7月) 21:30 米・住宅建設許可件数(7月) CP買い入れオペ(日本銀行) OPECプラス、主要閣僚がオンライン会合 決算発表 BHPグルーブ、ウォルマート 08:50 輸出(7月) 08:50 輸入(7月) 08:50 輸入(7月) 08:50 対域受法(6月) 15:00 英・注意者物価企出コア指数(7月) 15:00 英・生産者物価産出コア指数(7月) 16:00 欧・ユーロ圏径将(収支(6月) 16:00 欧・ユーロ圏径将(収支(6月) 16:00 欧・ユーロ圏径将(収支(6月) 16:00 欧・ユーロ圏(アド(7月) 16:00 欧・エーロ圏(アド(7月) 16:00 欧・エーローローローローローローローローローローローローローローローローローローロ			20:00	ブ・FGV消費者物価指数(IPC-S)(8月15日まで1カ月間)
23.00 米・NAHB住宅市場指数(8月) 27.00 ブ・貿易収支(週次X8月16日まで1カ月間) 29.00 米・対米証券投資収支(ネット長期TICフローX6月) 米・民主党全国大会(20日まで) 決算発表、JDドットコム 17.00 ブ・FIPE消費者物価指数(週次X8月15日まで1カ月間) 20.00 ブ・FGVインフレ率(IGP-M、2次プレビューX8月) 21:30 米・住宅着工件数(7月) CP買い入れがベ(日本銀行) OPECプラス、主要閣僚がオンライン会合 決算発表 BHPグループ、ウォルマート 08:50 輸出(7月) 08:50 輸入(7月) 08:50 輸入(7月) 08:50 「貿易収支(7月) 15:00 英・消費者物価ニコア指数(7月) 15:00 英・消費者物価ニコア指数(7月) 17:00 欧・ユーロ圏経常収支(6月) 17:00 欧・ユーロ圏経常収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏とPI(7月) 18:00 欧・ユーロ田とPI(7月) 18:00 欧・ユーロ田とPI(20:25	ブ・週次景気動向調査
27:00 ブ・貿易収支(週次)8月16日まで1カ月間) 29:00 米・対米証券投資収支(ネット長期TICフローX6月) 米・民主党全国大会(20日まで) 決算発表。JDドットコム 17:00 ブ・FIPに消費者物価指数(週次)8月15日まで1カ月間) 20:00 ブ・FGVインフレ率(IGP-M、2次プレビューX8月) 21:30 米・住宅港工件数(7月) 21:30 米・住宅建設許可件数(7月) OPECプラス、主要關僚がオンライン会合 決算発表 BHPグルーブ、ウォルマート 08:50 輸出(7月) 08:50 輸出(7月) 08:50 輸出(7月) 08:50 輸出(7月) 15:00 英・消費者物価声出了指数(7月) 15:00 英・消費者物価産出コア指数(7月) 15:00 英・連奏者物価産出コア指数(7月) 16:00 数・ユーロ圏を呼収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏を呼収支(6月) 18:00 欧・ユーロビア(7月) 18:00 欧・コーロビア(7月) 18:00 欧・コーロビ			21:30	米・ニューヨーク連銀製造業景気指数(8月)
29:00 米・対米証券投資収支(ネット長期TICフロー)(6月)			23:00	米·NAHB住宅市場指数(8月)
米・民主党全国大会(20日まで) 決算発表 JDドットコム			27:00	ブ・貿易収支(週次)(8月16日まで1カ月間)
決算発表 JDドットコム 大			29:00	米·対米証券投資収支(ネット長期ΠCフロー)(6月)
8月18日 火 17.00 ブ・FIPE消費者物価指数(週次/8月15日まで1カ月間) 20.00 ブ・FGVインフレ率(IGP-M、2次プレビュー/8月) 21.30 米・住宅建設許可件数(7月) 21.30 米・住宅建設許可件数(7月) CP買い入れオペ(日本銀行) OPECプラス、主要閣僚がオンライン会合				米・民主党全国大会(20日まで)
20:00 プ・FGVインフレ率(IGP-M、2次プレビュー)(8月) 21:30 米・住宅着工件数(7月) 21:30 米・住宅建設許可件数(7月) CP買い入れオペ(日本銀行) OPECプラス、主要閣僚がオンライン会合 決算発表 BHPグループ、ウォルマート 8月19日 水				決算発表 JDドットコム
21:30 米・住宅着工件数(7月) 21:30 米・住宅建設許可件数(7月) CP買い入れオペ(日本銀行) OPECプラス、主要閣僚がオンライン会合 決算発表 BHPグループ、ウォルマート 8月19日 水	8月18日	火	17:00	ブ・FIPE消費者物価指数(週次)(8月15日まで1カ月間)
21:30 米・住宅建設許可件数(7月) CP買い入れオペ(日本銀行) OPECプラス、主要閣僚がオンライン会合 決算発表 BHPグループ、ウォルマート			20:00	ブ・FGVインフレ率(IGP-M、2次プレビュー)(8月)
CP買い入れ才ペ(日本銀行)			21:30	米·住宅着工件数(7月)
OPECプラス、主要閣僚がオンライン会合 決算発表 BHPグループ、ウォルマート 8月19日 水 08:50 輸出(7月) 08:50 貿易収支(7月) 08:50 コア機械受注(6月) 15:00 英・消費者物価コア指数(7月) 15:00 英・生産者物価産出コア指数(7月) 17:00 欧・ユーロ圏経常収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏CPI(7月) 21:30 加・消費者物価指数(7月) 国債買い入れオペ(残存3-5年、残存5-10年)(日本銀行)			21:30	米·住宅建設許可件数(7月)
決算発表 BHPグループ、ウォルマート 8月19日 水				CP買い入れすペ(日本銀行)
8月19日 水 08:50 輸出(7月) 08:50 輸入(7月) 08:50 貿易収支(7月) 08:50 コア機械受注(6月) 15:00 英・消費者物価コア指数(7月) 15:00 英・生産者物価産出コア指数(7月) 17:00 欧・ユーロ圏経常収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏経常収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏CPI(7月) 21:30 加・消費者物価指数(7月) 国債買い入れオペ(残存3-5年、残存5-10年)(日本銀行)				OPECプラス、主要閣僚がオンライン会合
08:50 輸入(7月) 08:50 貿易収支(7月) 08:50 コア機械受注(6月) 15:00 英・消費者物価コア指数(7月) 15:00 英・生産者物価産出コア指数(7月) 17:00 欧・ユーロ圏経常収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏CPI(7月) 21:30 加・消費者物価指数(7月) 国債買い入れオペ(残存3-5年、残存5-10年)(日本銀行)				決算発表 BHPグループ、ウォルマート
08:50 貿易収支(7月) 08:50 コア機械受注(6月) 15:00 英・消費者物価コア指数(7月) 15:00 英・生産者物価産出コア指数(7月) 17:00 欧・ユーロ圏経常収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏CPI(7月) 21:30 加・消費者物価指数(7月) 国債買い入れオペ(残存3-5年、残存5-10年)(日本銀行)	8月19日	水	08:50	輸出(7月)
08:50 コア機械受注(6月) 15:00 英・消費者物価コア指数(7月) 15:00 英・生産者物価産出コア指数(7月) 17:00 欧・ユーロ圏経常収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏CPI(7月) 21:30 加・消費者物価指数(7月) 国債買い入れオペ(残存3-5年、残存5-10年)(日本銀行)			08:50	輸入(7月)
15:00 英・消費者物価コア指数(7月) 15:00 英・生産者物価産出コア指数(7月) 17:00 欧・ユーロ圏経常収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏CPI(7月) 21:30 加・消費者物価指数(7月) 国債買い入れオペ(残存3-5年、残存5-10年)(日本銀行)			08:50	貿易収支(7月)
15:00 英・生産者物価産出コア指数(7月) 17:00 欧・ユーロ圏経常収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏CPI(7月) 21:30 加・消費者物価指数(7月) 国債買い入れオペ(残存3-5年、残存5-10年)(日本銀行)			08:50	コア機械受注(6月)
17:00 欧・ユーロ圏経常収支(6月) 18:00 欧・ユーロ圏CPI(7月) 21:30 加・消費者物価指数(7月) 国債買い入れオペ(残存3-5年、残存5-10年)(日本銀行)			15:00	英・消費者物価コア指数(7月)
18:00 欧・ユーロ圏CPI(7月) 21:30 加・消費者物価指数(7月) 国債買い入れオペ(残存3-5年、残存5-10年)(日本銀行)			15:00	英・生産者物価産出コア指数(7月)
21:30 加・消費者物価指数(7月) 国債買い入れオペ(残存3-5年、残存5-10年)(日本銀行)			17:00	欧・ユーロ圏経常収支(6月)
国債買い入れオペ(残存3-5年、残存5-10年)(日本銀行)			18:00	欧·ユーロ圏CPI(7月)
			21:30	加·消費者物価指数(7月)
业、				国債買い入れオペ(残存3-5年、残存5-10年)(日本銀行)
不・理邦公開中場安貝云(FUMU)議事安日(/月25 ⁻ 23日ガ)				米·連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨(7月28-29日分)
インドネシア・中央銀行が政策金利発表				インドネシア・中央銀行が政策金利発表
決算発表 エヌビディア、アナログ・デバイセズ				決算発表 エヌビディア、アナログ・デバイセズ

8月17日~8月21日※全て日本時間で表示

3

日付	曜日	時間	内容
8月20日	木	08:50	対外・対内証券投資(先週)
		10:30	中·貸出基準金利1年物
		10:30	中·貸出基準金利5年物
		14:00	コンビニエンスストア売上高(7月)
		20:00	トルコ・中央銀行が政策金利発表
		21:30	米·新規失業保険申請件数(先週)
		21:30	米・フィラデルフィア連銀製造業景況指数(8月)
		23:00	米·景気先行指数(7月)
			ニューラルポケットが東証マザーズに新規上場(公開価格:900円)
			ブ・CNI産業信頼感(8月、21日までに)
			フィリピン・中央銀行が政策金利発表
			米・サンフランシスコ連銀総裁が講演
			決算発表 アリババ
8月21日	金	08:30	消費者物価コア指数(7月)
		09:30	製造業PMI(8月)
		09:30	サービス業PMI(8月)
		09:30	総合PMI(8月)
		13:00	スーパーマーケット売上高(7月)
		14:30	全国百貨店売上高(7月)
		14:30	東京地区百貨店売上高(7月)
		15:00	英·小売売上高指数(7月)
		16:30	独·製造業PMI(8月)
		16:30	独・サービス業PMI(8月)
		16:30	独·総合PMI(8月)
		17:00	欧·ユーロ圏製造業PMI(8月)
		17:00	欧・ユーロ圏サービス業PMI(8月)
		17:00	欧·ユーロ圏総合PMI(8月)
		17:30	英·製造業PMI(8月)
		17:30	英・サービス業PMI(8月)
		17:30	英·総合PMI(8月)
		22:45	米·製造業PMI(8月)
		22:45	米・サービス業PMI(8月)
		22:45	米·総合PMI(8月)
		23:00	米·中古住宅販売件数(7月)
		23:00	欧・ユーロ圏消費者信頼感指数(8月)
			国債買い入れオペ(残存1-3年、残存5-10年、残存25年超)(日本銀行)

■(日)7月貿易収支

19日(水)午前8時50分発表予定

(予想は、38 億円) 先行指標となる 7 月上中旬の貿易収支は、-1361 億円で赤字幅は前年同期比で 60%減少した。前年 7 月の貿易収支は-2539 億円だったことから、7 月の貿易収支はわずかな黒字となる可能性がある。

■(欧)8 月マークイットユーロ圏製造業購買担当者景気指数(PMI)速報値

21日(金)午後5時発表予定

(予想は、52.6) 参考となる 7 月実績は 51.8。ユーロ圏における新型コロナウイルスの感染流行は終息していないものの、各国の経済活動は拡大しつつある。欧州復興基金の創設や雇用情勢の改善傾向はプラス材料となるため、製造業 PMI は 7 月実績をやや上回る可能性がある。

■(米)8 月マークイット製造業購買担当者景気指数(PMI)

21 日(金)午後 10 時 45 分発表予定

(予想は、51.5) 参考となる7月実績は、50.9。国内におけるウイルス感染は増加しており、企業景況感の大幅な改善は期待できないものの、雇用や個人消費は改善傾向にある。複数の項目で改善が予想されており、全体の指数は7月並みの水準を維持する可能性がある。

■(米)7月中古住宅販売件数

21 日(金)午後 11 時発表予定

(予想は、528万戸) 6月の販売件数は4カ月ぶりに増加。雇用情勢が改善しつつあることや、低水準で住宅ローン金利が利用できる状態は変わっていないことを考慮すると、7月は6月実績を上回る可能性が高いと予想される。

5

※括弧内は決算説明会の予定日。なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
8月17日	2385	総医研ホールディングス	東証マザーズ	
	3296	日本リート投資法人	東証REIT	
	3487	CREロジスティクスファンド	東証REIT	
	6342	太平製作所	東証2部	
	6531	リファインバース	東証マザーズ	
	6542	FCホールディングス	シ゛ャスダックS	
	8275	フォーバル	東証1部	
	8955	日本プライムリアルティ投資法人	東証REIT	
	8964	フロンティア不動産投資法人	東証REIT	
	9263	ビジョナリーホールディングス	シ゛ャスダックS	
	9416	ビジョン	東証1部	
8月18日	3076	あいホールディングス	東証1部	
	7722	国際計測器	シ゛ャスダックS	
8月19日	1999	サイタホールディングス	福岡	
	3470	マリモ地方創生リート投資法人	東証REIT	
55 A S S S S S S S S S S S S S S S S S S	6327	北川精機	シ゛ャスダックS	
	9127	玉井商船	東証2部	
8月20日	3347	トラスト	東証2部	
	3632	グリー	東証1部	
	8963	インヴィンシブル投資法人	東証REIT	
	8987	ジャパンエクセレント投資法人	東証REIT	
A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	9757	船井総研ホールディングス	東証1部	
	9966	藤久	東証1部	
8月21日	7488	ヤガミ	名証2部	
	7593	VTホールディングス	東証1部	

格上げ・買い推奨

6

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

日付	証券会社	コード	社名	レーティング	目標株価(円)	
8月11日	モルガン	4523	エーザイ	EQUALWEIGHT→OVERWEIGHT格上げ	8500→10800	
	大和	6284	ASB機械	2→1格上げ	3700→4000	
	東海東京	3656	KLab	NEUTRAL→OUTPERFORM格上げ	660→1200	
8月12日	JPモルガン	6471	日精工	NEUTRAL→OVERWEIGHT格上げ	800→900	
	いちよし	7550	ゼンショーHD	A新規	2800	
	00 00 00 00 00 00 00	7821	前田工繊	B→A格上げ	2400→3200	
	0 0 0 0 0 0 0	8154	加賀電	B→A格上げ	3000	
	ゴールドマン 8031		三井物	中立→買い格上げ	-	
	岡三 9513		Jパワー	中立→強気格上げ	2050	
	大和	和 3291		3→2格上げ	1380→2200	
	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	7956	ピジョン	4→3格上げ	3730→4420	
	東海東京	9684	スクエニHD	NEUTRAL→OUTPERFORM格上げ	6200→8100	
	0 0 0 0 0 0 0 0	9766	コナミHD	NEUTRAL→OUTPERFORM格上げ	3900→5500	
8月13日	いちよし	4626	太陽HD	B→A格上げ	5500→7000	
	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	4680	ラウンドワン	A新規	1300	
	大和	4527	ロート	3→2格上げ	3480→4100	
8月14日	三菱	6302	住友重	NEUTRAL→OVERWEIGHT格上げ	2400→3270	

格下げ・売り推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

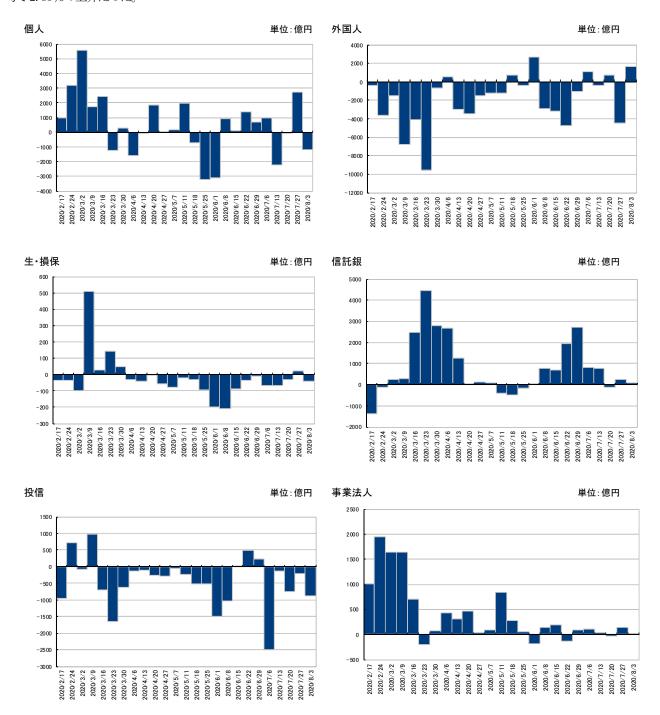
日付	証券会社	コード	社名	レーティング	目標株価(円)
8月11日	JPモルガン	8253	クレセゾン	OVERWEIGHT→NEUTRAL格下げ	1450→1200
	いちよし	2326	デジアーツ	B→C格下げ	8400→7300
	三菱	6845	アズビル	OVERWEIGHT→NEUTRAL格下げ	3700→3530
	大和	4739	СТС	1→2格下げ	3900→4300
8月12日	岡三	9511	沖縄電	強気→中立格下げ	2124→1680
8月13日	いちよし	9058	トランコム	A→B格下げ	8500
	みずほ	2875	東洋水産	買い→中立格下げ	6300→6700
	岡三	9064	ヤマトHD	強気→中立格下げ	2400→2800
	大和	2327	日鉄SOL	1→2格下げ	3400→3200
	野村	9513	Jパワー	BUY→NEUTRAL格下げ	2890→1540
8月14日	いちよし	6638	Mimaki	A→B格下げ	790→400
	みずほ	3092	ZOZO	買い→中立格下げ	2500→2900
	三菱	7550	ゼンショーHD	BUY→HOLD格下げ	2700→2300
	大和	6028	テクノプロHD	2→3格下げ	6300
	東海東京	6553	ソウルドアウト	OUTPERFORM→NEUTRAL格下げ	2115→1900

8月第1週:外国人投資家は総合で買い越しに転じる

8月第1週の投資主体別売買動向によると、外国人投資家は総合で672億円と買い越しに転じた。現物は買い越しに転じ、TOPIX 先物は売り越しを継続、225 先物は買い越しを継続した。個人投資家は総合で1708億円と売り越しに転じた。

そのほか、投信は645億円と売り越しを継続、都地銀は164億円の買い越しに転じた。また、生・損保は23億円と買い越しに転じ、事法は9億円と買い越しを継続、信託は559億円の買い越しを継続した。

なお、自己は、225 先物を売り越しに転じ、TOPIX 先物は買い越しを継続、現物は買い越しを継続、総合で 112 億円と買い越しを継続した。この週の裁定残は、ネットベースで 1232. 51 億円増の 1 兆 4020. 65 億円の売り越しとなった。週間の騰落率は日経平均で 2.85%の上昇だった。



9

									単位:億円
	日付	自己	個人	外国人	投信	事業法人	生∙損保	都地銀	信託銀
	20/04/27	1,600	66	▲ 1,482	▲275	39	▲ 54	▲168	113
	20/05/07	914	146	▲1,195	▲69	96	▲ 77	▲ 13	94
	20/05/11	▲1,172	1,951	▲1,239	▲242	843	▲21	▲113	▲420
	20/05/18	1,172	▲ 711	688	▲ 531	277	▲32	▲180	▲496
	20/05/25	4,940	▲3,203	▲347	▲ 524	52	▲ 95	▲ 142	▲179
	20/06/01	3,067	▲3,082	2,633	▲1,501	▲185	▲200	▲102	15
現	20/06/08	2,827	938	▲2,887	▲1,021	131	▲209	130	762
物	20/06/15	2,085	89	▲3,173	31	198	▲89	▲ 90	680
	20/06/22	797	1,406	▲ 4,756	496	▲140	▲38	▲282	1,936
	20/06/29	▲2,748	685	▲1,022	228	90	▲12	▲ 69	2,728
	20/07/06	▲384	984	1,096	▲2,506	97	▲ 70	▲ 52	821
	20/07/13	2,762	▲2,248	▲ 417	▲126	38	▲ 70	▲38	788
	20/07/20	195	▲ 96	709	▲ 744	▲39	▲32	16	▲126
	20/07/27	1,714	2,710	▲ 4,487	▲209	148	24	32	263
	20/08/03	640	▲1,162	1,631	▲890	8	▲44	▲7	87
				.,					単位:億円
	日付	自己	個人	外国人	投信	事業法人	生∙損保	都地銀	信託銀
	20/04/27	252	114	▲324	302	▲ 1	▲ 131	2	▲ 260
	20/05/07	▲697	▲ 12	795	34	▲0	9	▲ 43	▲ 76
	20/05/11	1,598	1	▲1,642	258	▲ 1	▲37	44	▲ 171
	20/05/18	▲2,015	▲14	2,155	▲2	0	▲86	▲ 4	▲38
	20/05/25	▲ 4,611	90	3,750	412	2	313	▲103	▲30
T 0	20/06/01	▲ 1,197	▲ 14	2,273	▲ 344		144	107	▲1,006
P	20/06/08	1,366		▲891	▲ 644		▲20	▲ 6	294
I X	20/06/15	▲320	▲62	869	158	3	<u></u> 44	<u></u> 244	▲331
先	20/06/22	1,101	6	599	▲ 50	▲ 1	4		▲ 1,622
物	20/06/29	2,187	▲ 66	▲ 909	<u></u> 91	<u> </u>		54	▲ 1,207
	20/07/06	1,267	68	794	▲ 1,196		252	▲ 164	<u></u> 1,110
	20/07/13	▲ 2,047	▲ 42	2,235	264	_ 0	33	_ 101	▲ 325
	20/07/20	604	92	▲ 568	72	2	7	▲ 106	
	20/07/27	1,762	▲33	▲ 1,766	120	- 15	<u></u> 121	 ▲146	56
	20/08/03	718	_ 78	▲ 1,043	224	▲ 15	142		89
	20, 00, 00	, 10							単位:億円
	日付	自己	個人	外国人	投信	事業法人	生・損保	都地銀	信託銀
	20/04/27	▲863	522	961	▲ 984	▲ 13	▲ 224	492	141
	20/05/07	296	▲338	▲1,498	1,415	▲ 9	0	92	134
	20/05/11	1,340	228	▲ 957	▲620	1	▲ 204	330	▲145
	20/05/18	▲1,253	▲190	834	▲ 675	▲ 7	205	549	561
	20/05/25	▲2,109	149	543	▲282	8	1,722	▲183	291
日	20/06/01	▲3,278	99	3,548	▲1,344	6	5	614	359
経平	20/06/08	690	▲ 72	1,417	▲1,691	19	▲ 17	▲ 134	▲261
均	20/06/15	▲1,319	▲ 307	142	766	▲ 15	▲12	799	20
先	20/06/22	▲ 1,819	▲ 100	1,327	93	1	<u></u>	48	<u>∠</u> 453
物	20/06/29	▲ 446	▲ 100	1,311	▲ 555	4	▲31	1 53	▲ 184
	20/07/06	2,028	75	791	▲ 2,558	2	15	▲ 100	▲ 485
	20/07/13	≜ 820		1,241	▲ 2,338	<u>^</u> 9	▲ 56	▲ 129	▲32
	20/07/20	230	213	▲ 291	336	_ 5	▲ 6	92	13
	20/07/27	432	523	114	▲ 80	30	▲ 6		<u></u> 241
	20/08/03	▲ 1,246	▲ 468	84	21	16	<u></u> 6	198	383
	20/00/00	, = 1,270		04	41	10	_/3	130	505

※ データは直近の新規上場銘柄の結果とスケジュールを全て掲載しています。 証券会社によって取り扱いが異なりますので、お取引の際は各証券会社にご確認ください。

銘柄名	コード	市場	上場日	仮条件 (円)	公募株数 (株)	売出株数 (株)	公募価格 (円)	初値 (円)	主幹事	8/14終値 (円)
ティアンドエス	4055	東M	8/7	2,650~2,800	170,000	107,000	2,800	7,010	いちよし	11,700
事業内容:	大手企業及7	大手企業及び半導体工場向けシステム開発・運用保守・インフラ構築、AI関連のソフトウエア開発								
ニューラルポケット	4056	東M	8/20	800~900	415,000	215,800	900	-	みずほ	-
事業内容:		AIエンジニアリング事業(独自開発のAIアルゴリズムによる画像・動画解析技術とエッジコンピューティング技術の活用によるソ リューション提供)								
インターファクトリー	4057	東M	8/25	870~960	466,000	500,000	-	_	SMBC日興、SBI	-
事業内容:	クラウド型EC	プラットフォー	ム構築事業							
雪国まいたけ	1375	東1or東2	9/17	_	0	17,672,700	-	-	SMBC日興、大和	-
事業内容:	まいたけ、エ	まいたけ、エリンギ、ぶなしめじ等の生産販売及びきのこの加工食品の製造販売								

雲上抜け銘柄(東証1部)

コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)	コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)
1429	日本アクア	646	620.25	597.5	1768	ソネック	830	815.5	801
1848	富士ピー・エス	590	556.5	520.5	1899	福田組	4860	4606.25	4447.5
1946	トーエネック	3665	3638.75	3422.5	1951	協エクシオ	2722	2690	2704.5
1980	ダイダン	2669	2657.75	2510.5	2121	ミクシィ	2335	2059.75	2330
2211	不二家	2194	2165	2116.5	2317	システナ	1760	1752.5	1540.5
2325	NJS	1755	1749	1654	2590	DyDo	4745	4310	4740
2692	伊藤忠食	5190	4943.75	4782.5	2730	エディオン	1150	1114.5	1072.5
2802	味の素	1915.5	1902	1866.5	2925	ピックルス	2794	2787.5	2546
3101	東洋紡	1536	1522	1413	3132	マクニカ富士	1713	1711.5	1621.5
3159	丸善CHI	376	369.5	364.5	3291	飯田GHD	2068	1778.25	1809.5
3396	フェリシモ	1060	1016.5	1023	3465	ケイアイスター	2008	1908.75	1799.5
3763	プロシップ	1457	1451	1380	3901	マークラインズ	2045	2010	1780
4041	日曹達	3070	3010	2860	4043	トクヤマ	2705	2703.25	2620.5
4063	信越化	12935	12432.5	11385.5	4326	インテージHD	929	902.25	927
4401	ADEKA	1558	1548.5	1492.5	4512	わかもと	278	271	262.5
4514	あすか薬	1215	1204.75	1203	4578	大塚HD	4786	4698.25	4296
4641	アルプス技	1929	1869	1770.5	4763	C&R社	1259	1121.25	1193
4977	ニッタゼラチン	687	676.5	684	5142	アキレス	1892	1857.25	1826.5
5269	日コンクリ	288	283	282.5	5393	ニチアス	2478	2472	2260.5
6101	ツガミ	1103	1042.5	948.5	6146	ディスコ	26170	24720	21030
6187	リタリコ	2580	2497.75	2261	6194	アトラエ	3435	3283	3151
6201	豊田織	6160	6090	5990	6268	ナブテスコ	3380	3295.75	3106.5
6326	クボタ	1723	1676	1650.5	6370	栗田工	3275	3229.25	3000.5
6432	竹内製作所	1985	1786	1839	6516	山洋電気	5210	5052.5	4667.5
6517	デンヨー	2042	1981.5	1757.5	6630	ヤーマン	1164	717.75	1097.5
6730	アクセル	946	894.75	783	6737	EIZO	3990	3853.75	3977.5
6916	アイオデータ	1072	982.5	1021	6923	スタンレー電	2969	2933.25	2945.5
6951	日電子	3360	3267.25	2793.5	7180	九州FG	495	443.5	437
7313	TSテック	3285	3232.5	3136.5	7463	アドヴァン	1272	1239.75	1169.5
7510	たけびし	1486	1431	1378.5	7640	トップカルチャ	367	342.5	343.5
7702	JMS	865	843.5	800	7730	マニー	2870	2828	2417.5
7747	朝日インテック	3160	2882.25	2769.5	7811	中本パックス	1605	1577.75	1552.5
7816	スノーピーク	1309	1048.5	1226.5	7844	マーベラス	814	729	799
7915	NISSHA	1215	1108	1189	7940	ウェーブロックHD	797	777.5	775.5
8001	伊藤忠	2573.5	2483.5	2285	8133	エネクス	945	916.5	879
8173	上新電	2322	2318	2316	8184	島忠	3045	2986.75	2811
8278	フジ	1925	1910	1887.5	8285	三谷産業	340	333.5	313.5
8362	福井銀	1791	1700.25	1628.5	8370	紀陽銀行	1623	1595.25	1533
8382	中国銀	1039	1015.25	1000	8541	愛媛銀	1178	1146.75	1132

雲下抜け銘柄(東証1部)

コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)	コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)
1826	佐田建	411	440	413.5	2376	サイネックス	665	674.5	710.5
2432	ディーエヌエー	1771	1803.75	1920.5	3103	ユニチカ	370	378.5	396.5
4531	有機薬	331	366.75	345.5	4820	EMシステムズ	859	968	864
5757	CKサンエツ	3125	3252.75	3136.5	8945	サンネクスタ	997	1109.75	1004
9517	イーレックス	1338	1566.25	1340.5	9824	泉州電業	2858	3133.75	2920

【ご投資にあたって】

本レポート記載の内容に従ってお取引される場合、店舗における国内の金融商品取引所に上場する株式(売買単位未満を除く)の場合は約定代金に対して最大1.155%(税込)(ただし、約定代金の1.155%に相当する額が2,750円(税込)に満たない場合は2,750円(税込))の委託手数料をご負担いただきます。マルチネット取引で売買いただく場合には対面取引の基本料金から20%割引(当該金額が2,200円(税込)に満たない場合には、一律2,200円(税込))となります。

インターネット取引の場合、約定代金が3万円以下の時は、一律110円(税込)、3万円超の時は、約定代金に対して最大1.1%(税込)(オペレーター注文の場合、約定代金に対して最大0.6325%、最低手数料2,750円(税込))の委託手数料が必要となります。コールセンター取引の場合、約定代金に対して最大0.924%(税込)(当該金額が2,750円以下の場合は、2,750円(税込))の委託手数料が必要となります。

また、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者の信用状況(財務・経営状況含む)の悪化等、それらに関する外部評価の変化等により損失が生じる恐れ(元本欠損リスク)があります。

なお、信用取引などを行う場合は、対象となる株式等または指標等の価格変動により損失の額がお客様の差し入れた委託保証金などの額を上回るおそれ(元本超過損リスク)があります。なお、商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読みください。

【免責事項】

- 本資料は株式会社フィスコ(以下「フィスコ社」という)独自の調査・判断に基づくものであり、ひろぎん証券株式会社による投資情報ではありません。そのためひろぎん証券は本資料の正確性、完全性について一切の責任を負うものではなく、また、本資料の情報に基づいて被ったいかなる損害についても一切の責任を負いません。
- フィスコ社が提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。また、掲載される情報はフィスコ社が信頼できると判断した情報源をもとに作成したものですが、その内容及び情報の正確性、完全性または適時性について、フィスコ社は保証を行なっておらず、また、いかなる責任を持つものでもありません。
- 本文、データなどに関しましては、著作権法などの法律、規制により知的所有権が保護されており、個人の方の本来目的以外での使用や他人への譲渡、販売コピーは認められていません(法律による例外規定は除く)。
- 金融商品(投資信託・外貨預金・公共債等)は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、金融商品をお申込の際は、当該商品等の契約締結前交付書面もしくは投資信託説明書(交付目論見書)の内容をよくお読みください。

私たちはお役に立つ情報提供を常に考え、行動しています。



商号等: ひろぎん証券株式会社

金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第20号

加入協会:日本証券業協会

本社 〒730-0032 広島市中区立町2-30 電話:082-245-5000(代)

http://www.hirogin-sec.co.jp

本店営業部 〒730-0032 広島市中区立町2-30 Tel: 082-245-5000 海田営業所 〒736-0046 広島県安芸郡海田町窪町5-8 Tel: 082-208-5700 皆実町営業所 〒734-0007 広島市南区皆実町5-13-12 Tel: 082-252-8415 福山支店 〒720-0812 福山市霞町1-1-1 Tel: 084-922-1321 岡山営業所 〒700-0826 岡山市北区磨屋町1-3 Tel: 086-222-1561 府 中 支 店 〒726-0004 府中市府川町335-1 Tel: 0847-45-8500 尾 道 支 店 〒722-0035 尾道市土堂2-7-11 Tel: 0848-23-8121 因島支店 〒722-2323 広島県尾道市因島土生町2017-3 ℡:0845-22-2291 竹 原 支 店 〒725-0026 竹原市中央5-5-5 TEL: 0846-22-2295 三原営業所 〒723-0014 三原市城町1-25-1 Tel: 0848-67-6681 呉 支 店 〒737-0045 呉市本通3-5-4 TEL: 0823-21-6401 三 次 支 店 〒728-0012 三次市十日市中2-13-26 Tel: 0824-62-3121

可 部 支 店 〒731-0221 広島市安佐北区可部3-20-21 Tel: 082-815-2600 広島西支店 〒733-0841 広島市西区井口明神1-17-4 Tel: 082-277-2700 東広島支店 〒739-0014 東広島市西条昭和町2-7 Tel: 082-422-3621 廿日市支店 〒738-0024 廿日市市新宮1-9-34 Tel: 0829-31-6611 岩 国 支 店 〒740-0018 岩国市麻里布町2-7-7 Tel: 0827-22-3161 徳 山 支 店 〒745-0034 周南市御幸通2-15 Tel: 0834-31-5350 防 府 支 店 〒747-0801 防府市駅南町4-1 Tel: 0835-22-2871 宇 部 支 店 〒755-0031 宇部市常盤町1-6-32 Tel: 0836-31-1105 萩 支 店 〒758-0027 萩市吉田町64-2 Tel: 0838-25-2121 東京支店 〒104-0031 中央区京橋2-7-19 6F Tel: 03-6228-7251 今治営業所 〒794-0022 今治市室屋町1-1-13 Tel: 0898-55-8280 松山営業所 〒790-0006 愛媛県松山市南堀端町6-5 Tel::089-909-3801

ネットセンター(インターネット取引) http://www.hirogin-sec.co.jp コールセンター(コール取引) フリーアクセス:0120-506-084

資料作成:株式会社フィスコ

■お問合せ

► **∢**► FISCO

〒107-0062東京都港区南青山5-13-3

株式会社フィスコ

電話:03-5774-2443(情報配信部)